

# 令和4年度 事業計画

## 1. 事業方針

我が国においては、少子高齢化が進み労働人口の減少は今後ますます拡大することが予想されます。人手不足の解消や現役世代を下支えするために高齢者の活躍が求められています。しかし、国では定年延長や70歳までの就業機会確保を企業に求めており、新入会員の確保への対応がますます困難な状況となっています。また、新型コロナによる事業への影響やインボイス制度への対応など、シルバー事業を取り巻く情勢は一段と厳しい状況が予想されます。

当地域においても、人口減少、少子高齢化が進み、各企業において人手不足は深刻な問題であり、各家庭に於いても農地や家の周りの管理等、人手不足の状況が続いています。

当センターの祖入会率は約6%余と県下でも高い方であるが、企業の定年延長・継続雇用等により60代前半の会員が大幅に減少し高齢化が進んでおり、会員確保は今後も取り組まなければならない最重要課題です。事業面では請負による就業を基本としてきましたが、「適正就業ガイドライン」のもと、請負・委任業務になじまない業務を派遣事業への転換を進めており、シルバーを取り巻く環境も大きく変化しています。今後も高齢者がこれまでに培ってきた経験、知識、能力を活かし就業を通じ、生きがいを持って社会に貢献できるよう、また、地域社会を支える担い手として、更には地域のニーズに応えるため積極的に事業を展開していかねばならない。

昨年度実績は新型コロナの影響で一昨年度に続き減額となりました。本年度は少しでも回復するように就業開拓に取り組むと共に地域社会に貢献できる各種事業を実施し、目標達成と地域活性化のため前進しなければならない。

また、会員の安全確保は最重要課題であります。「安全は全てに優先する」を基本に「事故ゼロ」を目指して、全会員・役職員が一丸となって事故撲滅に取り組まなければならない。

シルバーの基本理念「自主・自立、共働・共助」により、「希望と活力と魅力あふれる」地域づくりを推進するため、以下の重点目標を定め事業を積極的に展開します。

### <重点目標>

1. 安全就業を基本に「危険ゼロ」及び「事故ゼロ」を目指し適正就業に努める
2. 広報・普及啓発活動の充実と強化に努める
3. 基盤拡大(会員拡大、就業拡大)と会員の資質の向上に努める
4. 組織体制の活性化と強化に努める
5. 派遣事業の推進に努める
6. 健全な財政運営と事務局体制の整備に努める

## 2. 事業実施計画

### (1) 安全・適正就業推進事業

事故撲滅のためには、「危険ゼロ」が最も重要であることから、就業前には必ずミーティングを実施し安全意識への徹底を図る。また、「安全は全てに優先する」を基本として安全・適正就業に努める。

3年度は2件の損害事故と1件の傷害事故が発生した。目標は「事故ゼロ」である。事故は一寸した気の緩みから起きる事故がほとんどです。ヒヤリ・ハットの段階で対処していくことが必要です。一人ひとりが安全意識と細心の注意により就業を行うことが基本です。4年度においても組織を挙げて重篤事故はもとより、全ての事故の撲滅を図らなければならない。

- ① 安全・適正就業研修会の開催
- ② 作業別安全・適正就業基準の徹底
- ③ 安全・適正就業の積極的な呼びかけ
- ④ 安全パトロールの実施
- ⑤ 作業前の安全ミーティング実施の徹底（安全確認シート）
- ⑥ 部会の開催
- ⑦ 「標語」の募集を行い優秀作品の表彰
- ⑧ 新型コロナウイルス感染拡大防止を図る

### (2) 広報・普及啓発活動事業

広報活動は、シルバー事業の内容について、広く地域社会にPRするとともに、会員の拡大及び就業開拓について、あらゆる機会を通じて広報活動と普及啓発を行う。特に65歳定年制延長、更に70歳までの雇用延長等企业も人手不足を見込み精通している者の雇用を確保している。このため60代前半層の会員確保が非常に難しくなっています。今後は会員確保に重点を置き啓発活動を活発に展開していく。

- ① 地区役員の下(地区代表、各班長)、啓蒙活動を活発に実施する
- ② 普及啓発促進月間(10月)を中心に、諸事業を積極的に推進する  
シルバーフェア、地区ごと独自のボランティア活動等の実施
- ③ 町村広報誌、チラシ、ホームページ等による広報活動
- ④ 会員1人が1会員を増やす啓蒙活動を行う
- ⑤ 広報誌、チラシ、研修等を通し会員の資質の向上を図る
- ⑥ 広報誌(シルバーだより)の充実を図り、年2回以上発行する
- ⑦ 部会の開催
- ⑧ あらゆる広報媒体の活用

### (3) 事業の拡大と就業開拓事業

財政基盤の強化拡大のため、会員拡大及び就業拡大に取り組みます。また、地域社会のニーズに応えるため、各種事業を検討し実施します。

会員確保は重要課題であります。団塊の世代、ホワイトカラー層世代を中心に会員拡大(特に女性会員)を行い、高齢者が地域社会で活躍できる場を創出する事業を実施していきます。また、会員の公平な就業及び就業率向上を目指します。基盤拡大と強化のためには、会員の確保はもちろん就業機会の開拓と確保が必要不可欠であるため、積極的に新規事業の開拓を推進し、更に派遣事業については請負からの切り替え及び新規事業の就業開拓に努めます。

- ① 地域の隅々まで就業開拓に力を入れる
- ② 公共関係の受注を更に充実・拡大する
- ③ 会員の「ロコミ運動」(一会員一仕事の開拓)
- ④ 各地区、役員は率先して就業開拓に努める
- ⑤ 地域班、職群班と情報を密にして就業開拓を推進する
- ⑥ 閑散期(冬期間)の就業開拓を行う
- ⑦ 未就業会員対策の検討
- ⑧ 各種講習会実施の検討
- ⑨ 独自事業導入の検討

### (4) 組織の活性化と会員相互の連絡強化

「自主・自立、共働・共助」による事業の運営を図り、共に支え合い協力し組織の強化に努める。特に地域班、職群班、専門部会(安全・普及啓発・女性・総務)それぞれの充実と強化に努める。

- ① 専門部会組織の活性化とシルバー組織の強化を図る
- ② 地区組織と各部会との連絡協調を図り地域社会の活性化を支える
- ③ 各部会の活動の活性化を図るとともに連絡、協力体制を強化する
- ④ ボランティア活動等の実施 (普及啓発部会と連携)  
(各地区特色ある計画を地区代表の下、企画実行する)
- ⑤ 総会等出席義務行事への参加率の向上に努める
- ⑥ 親睦会活動を支援し会員の交流と福祉の向上に努める
- ⑦ 部会の開催
- ⑧ 地区懇談会を開催し、多くの会員の意見を聞き組織の強化に努める

## (5) 女性部の活動強化と推進

近年女性会員の就業依頼が増加し、一人の会員が重複して就業しているケースが多々あり要望に応えることができず発注者には大変迷惑をかけています。これからも新型コロナの影響とは関係なくこの状況は続くことが予想され女性会員の確保と増強が必要不可欠であります。女性会員を増やす対策をあらゆる角度から検討し女性でなければできない業務やセンターの魅力、活動等を紹介し地域の要望に応え、また会員の確保に努めなければならない。

- ① 施設訪問等の実施(各所ボランティア活動)
- ② 独自事業の検討(女性特有の事業)
- ③ 地区ボランティア活動への参加協力
- ④ 各種行事、研修会、講習会等への積極的参加
- ⑤ 女性会員交流会の検討
- ⑥ 部会の開催

## (6) 健全な財政運営

新型コロナウイルス感染症の影響により公共・企業共に契約額が減少しており、センター事業運営は厳しい状況に置かれている中、事業費の回復を踏むために就業拡大に努め、経費節減を必要最小限に切り詰め、引き続き健全な財政運営に努めます。